昭和57年
2月1日
第193号

つなぎ
町報

発行所 津奈木町役場
編集 企画課
印刷所 あすなろ印刷

人口と世帯
（1月1日現在）

人口	6,312人	(－2)
男	3,015人	(＋2)
女	3,297人	(－4)
世帯	1,707世帯	

（）内は前月との比較

待望の広域農道が着工
Ⓗ甘夏地帯を結ぶ
津奈木～浦田

・水俣市・芦北郡三町では、芦北・水俣広域営農地整備事業推進協議会（会長・津奈木町長）を設立し、その基幹事業として、田浦町より海岸沿いに、ミカン園を縦断し、津奈木町小津奈木に至る延長二七・八キロメートルの広域農業の採択につき、関係省庁へ陳情を重ねた結果、昭和五十五年四月四日付けをもって第一期分の採択が決定した。

この広域農道の起工式を去る、一月二十五日、津奈木海洋センター近くの現地において、九州農政局、県関係、芦北郡市の代表など計七十人が出席して行われ、六車町長らがクワ入れをした。

この事業は本年度から十年間で完成を目指す計画です。十年後には、本町から田浦町までの二七・八キロメートル、巾員七・五メートルの幹線地帯を貫通する基幹農道として、水俣芦北地域の農業振興のみに止まらず、社会経済の発展にも大いに期待されます。

本事業の概要は次のとおりです。

総事業量 二七・五㎞
内 トンネル 一ケ所
橋 九ケ所
総事業費 一二七億円
内 地元負担金 一〇％
全巾員 七・五メートル
計画路線（町関係だけ）
小津奈木（赤松）～拓地～橋～舟碇～町道赤崎線～赤崎～将軍神社上～辻ノ八迫（字国～福浦上～女島

芦北水俣広域農道通過予定路線図

また、広域農道には、「トラック、トップカー等の駐車はできない。」という声を聞きますが、この道路は農業振興のための農業用道路です。駐車して農産物の積み降ろしは自由に出来ます。蛇足ですが付け加えておきます。

広域農道についてお願いとお知らせ

来年度から、いよいよ沿から赤崎方面への用地買収を進め、一部の道路工事に着手致します。町民関係各位の御協力を切にお願い致します。

ビル火災に威力
広域消防に梯子車購入

この度、一月十一日広域北消防組合に梯子車が購入されました。

24メートル（7階）級の梯子車

車種は日野ジーゼルの8t車で6気筒、270馬力、排気量約17万3千CC、長さ約9メートル、巾約2.5メートル、高さ3メートル、定員が7名で、約5千6百万円で購入されました。

この梯子車は、24メートル級の梯子を延長した際、地上から梯子の先端まで24メートル延び、七階建までの要救助者を救出することが出来、又360度回転しますので、どの方向にもかて又は放水することが出来ます。

歳末助け合い ありがとう

町民皆様方の厚いご理解と温かいご協力によりまして、次のとおり多大の募金をいただきました。厚く御礼申し上げます。特に今回は中学校の生徒の皆さんが生徒会活動の一環として取り組まれ募金を寄付していただきありがとうございました。この義捐金は、施設に入所している人、入院患者、町内在宅のねたきり老人や重度の心身障害児者等、計二一五名の方に一人三千円を御見舞い致しました残り二〇四三円は社会福祉協議会へ繰入れ、社会福祉のため利用させていただきます。なお町民の皆様の温かい協力に対してお礼状がまいっておりますが、紙面の都合上、全部を掲載できませんので、その内の二つをご紹介いたします。

津奈木町の皆さまへ

見舞金ありがとうございます。遠慮なく使かわせてもらいます。父今から寒さがきびしくなりますが体に気をつけてがんばってもらいたいです。これで僕たちも楽しく正月を迎えることができとても嬉しく思っています。これからお出話になる機会がちょくちょくあるかもしれませんがその時はよろしくお願いします。風邪に気をつけ長生きされることをいのります。

ではさようなら

水俣 光明童園
中学二年 川内謙二郎

歳末助け合い募金報告

部落名	件数	金額	部落名	件数	金額
竹中	62	18,900	平国上	61	18,700
染中	79	25,200	平国下	94	33,300
浜崎	92	30,600	日当	128	39,000
桜戸	72	25,105	日添	131	39,500
町中	45	14,500	小津奈木	80	24,200
新川	69	25,300	辻	9	4,939
古川	70	22,700	小計	1,486	482,994
大泊	111	33,250			
中尾	73	22,200			
古倉	61	18,300			
内谷	66	20,400			
上野	47	15,650			
川門	59	22,100			
福浦	18	11,050			
浦田	59	18,100			

職場名	金額
津奈木郵便局職員一同	10,000
住物冷凍従業員一同	3,437
住物冷凍	10,000
津奈木中学校職員一同	7,970

職場名	金額
津奈木町民生委員一同	6,500
津奈木小学校職員一同	2,571
平国小学校職員一同	1,808
赤崎小学校職員一同	3,477
津奈保育園職員及び父兄会一同	34,699
町議会議員一同	16,000
津奈木中学校生徒一同	19,457
役場職員一同（三役含む）	57,510
匿名	9,000
小計	182,429
合計	665,423

叙位叙勲
従六位、勲五等瑞宝章
元老人クラブ会長・故永松登弥氏

津奈木村青年学校長、津奈木小学校長として昭和二十九年まで本町学校教育に尽力、昭和四十三年から津奈木町選挙管理委員、津奈木町社会教育委員、津奈木町老人クラブ会長等、その他多くの要職をつとめ、教育、行政に貢献された小津奈木部落、故永松登弥氏に、従六位、勲五等瑞宝章が授与されました。

交通安全
スピードはひかえめに

交通事故防止については、町民の御理解と御協力によりまして、正月以来交通事故「0」（一月二十日現在）が続いています。

県内では、月十二日早朝3時から七時迄の二時間に三件の死亡事故が発生しました。千手町でおきた事故は早朝散歩をしておられた八十四才の老人を大型トラックが中央線を越えて衝突死亡させています。早朝散歩、夜間歩行には、是非反射機を使用するようにしたいものです。又相良村では六時四十五分頃登校中の小学生（二一才）に普通乗用車が衝突死亡させたものでこの様な悲しい事故を津奈木町からなくする為に町民みんなが交通安全に対する意識の高揚をはかる様に致しましょう。

警察では一月十五日と十九日に県下一斉の早朝（午前五時三十分より午前八時まで）スピード取締りを実施の予定まで。本町では役場前で行なわれ、十五日は下りの取締りで違反は五十件余りもあり半数以上が三十五キロメートルを超えた悪質危険な違反者でした。又十九日は雨天にもかかわらず上りの取締りに三十件余りの違反があり、制限速度四十キロメートルの倍以上、八十一キロメートルで走っていた無謀なドライバーもかまっています。

町内のドライバーが制限速度を守ることによって、町を通過する全部の車の流れが制限速度になり事故を防止することができます。警察ではスピード取締りで違反者を摘発することが目的でなく、交通事故を防ぐため、法で定められた規則を守ってもらうための取締りを行っておられるもので、他市町のドライバーに一津奈木町で違反すれば、すぐつかまるバイ」。「津奈木じゃ交通違反なできんバイ」と思われる迄にして貰ったら津奈木町から交通事故をなくする事ができると思います。勿論本町の運転者は、町内だけでなく町外においても模範となる運転をお願いいたしたいものです。

飲んだら乗るな
乗るなら飲まない

酒を飲むと、量の多少にかかわらず、アルコールの影響で知覚能力、判断力が減退し、運動神経が鈍くなるなど自動車を運転する上で最も危険な状態となります。これらの危険性については誰でも識っていながら、つい、ちょっとだけ、この位なら大丈夫、などと自分で解釈して自動車の運転をする人が後を断たない現状です。

運転者自体が酒を口にしたら、絶体に車の運転をしない という強い意志と習慣を身につけるようにしましょう。又家庭や職場でも飲酒運転は「しない、させない」ことを徹底しましょう。

必ずシートベルトを

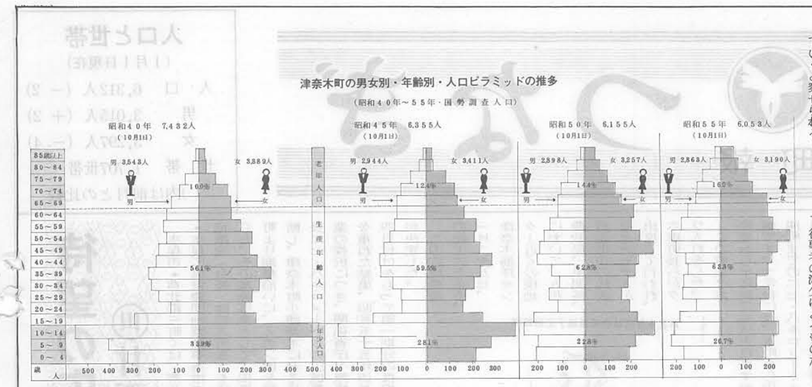
厳業時には、自分は安全運転をしていても思わぬスリップ事故に遭う危険性があります。その万一の事故に遭った時被害を軽減する大きな役割を果たすのがシートベルトです。昨年の県下の死亡事故の内シートベルトを着けていれば大部分の人は助かっていたといわれます。ドライバーはもちろん、同乗者も、自らの安全は自らの手で、の意識をもってシートベルトを着けるように致しましょう。

"お父さん、シートベルトは忘れずに着けてください"
朝の出勤前に一声かけましょう。

統計
徐々にすすむ高齢化
減る第一次産業就業者

本町での国勢調査（五年毎）結果から、人口と就業者について、近年の動きを調べてみた。

まず、十五年間の人口を年令別構成でグラフをもって現わすと別表のようになる。これをみると、十四才以下の人が十三％減少し、逆に六五才以上の人は六％増加していることがわかる。このことは本町でも高齢化現象が除々に進んでいくと察せられる。



しかし、総人口をみると最近の人口減少はやや、かん慢となり、急速な過疎化に歯止めがかかりつつあるようだ。

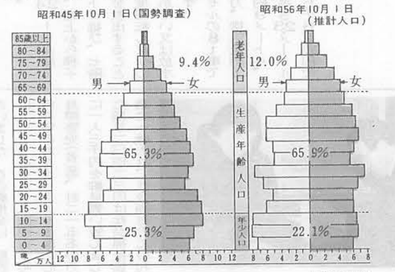
一方、産業分類別の就業動向をみてみると別表のように十五年間で、第一次産業が三％減少し、逆に第二次、第三次産業で二〇と三％増加している。この内で第一次産業の減少の主な点は農業従事者の減少によるものだ。

このことは近年、兼業農家が増加（最近一〇年間に三五％増）していることからも察せられる。

津奈木町・産業分類別就業者数（国勢調査）

産業	調査年次	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
第一次産業	農林業	2,169	1,609	1,203	1,342	845
	農業・水産養殖業	284	268	249	190	232
	計	2,453	1,877	1,452	1,532	1,077
第二次産業	鉱業	43	4	14	0	9
	建設業	213	267	252	351	434
	製造業	413	400	372	390	393
	計	669	671	638	741	836
第三次産業	卸売・小売業	304	315	287	235	369
	金融保険・不動産業	17	15	17	9	26
	運輸通信業	203	128	124	42	97
	サービス業	243	210	259	254	297
	官公務	60	66	87	80	91
	その他	4	1	4	0	7
	計	836	735	778	620	887
総数		3,958	3,283	2,868	2,893	2,800

熊本県の男女別・年齢別・人口ピラミッドの推移

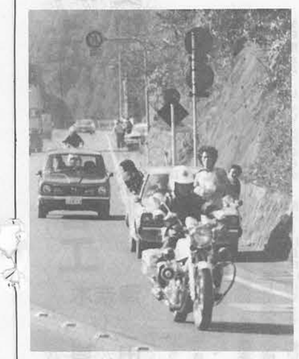


（統計調査課）

単独優勝！
第32回三太郎駅伝大会
ヤッタゾー

山また山を越えての難コースで知られる、新春恒例の三太郎駅伝大会が、一月十日十時、水俣市役所前から田浦町改善センターまで、39キロコースに二十七チーム（一般十四、高校五、中学八）が出場して熱戦が展開された。

水俣市が九年間守り続けてきた単独チーム二位の座を、津奈木A


2区をトップで力走する宮嶋選手

チーム（監督鶴野賢二一区新立芳郎、二区宮崎弘行、三区石野泰一、四区森下紀裕、五区福田必）が奪い、長期間の練習とチームワークで、大会新記録の栄冠に輝いた。また、総合の部では、昨年に引き続き、Bチーム（一区倉野義彦、二区津々木信、三区川野又男、四区諫山利男、五区長浜勝二）が大健闘して、津奈木中学校と共に二位の成績を収めた。

保健だより
乳幼児の予防接種

・ジフテリア
・百日ぜき
・破傷風

乳幼児の予防接種（二種及び三種混合）の二回目、三回目を次のとおり実施します。

一、対象児
昭和五十二年一月一日から昭和五十七年一月一日までの出生児
二、日時及び場所
○二回目五十七年二月二十四日
○三回目五十七年三月二十五日
いずれも午後一時三十分から午後三時まで
津奈木町中央公民館で
三、料金 無料
四、その他
母子手帳、印鑑は必ず御持参下さい。又子供の体温測定は、忘れない様にお願いします。

一歳六ヶ月検診

一歳6ヶ月検診を次のとおり実施します。

一、対象児
昭和五十五年六月一日から昭和五十五年九月三十日までの出生児。
二、日時及び場所
二月一十六日（金）
午後一時三十分から午後三時まで
津奈木町中央公民館
三、その他
母子手帳を必ず御持参下さい。

献血
献血車がまいります
愛の献血にご協力を

◎熊本県では、毎日六百人分の血液が必要です。血液は、作る事は出来ません。あなたの愛の献血が多くの人々の命を、救っているのです。
◎献血は十六才以上六十五才未満の健康な方であれば誰でも出来ます。
◎献血された方には、コレステロールや肝臓、腎臓など内蔵機能について7項目にわたる血液検査サービスをおこない結果をお知らせします。

◎日時及び場所
二月二十五日（木曜日）
午前九時から午後十二時まで 津奈木町中央公民館
午後一時三十分から三時まで 赤崎婦人会館

国民年金
誕生日には現況届を提出しましょう。

国民年金の老令年金・通算老令年金を受けている方は、年に一回その方の誕生日の末日までに「現況届」を提出しなければなりません。たとえば、二月生れの方は、二月末までに提出していただくことになります。

この「現況届」は、年金を受けている方が引き続いて年金を受けられるかどうかを調べる大切な手続きです。したがって、この手続きを怠りますと年金の支払いが一時差し止められることになりますので必ず期限までに提出しましょう。「現況届」の用紙は、誕生月（提出期限）の上旬頃に社会保険庁から送られてきますので、必要な事柄をご記入のうえ、役場で証明をうけて社会保険庁へ返送してください。

税務署だより
所得税・贈与税の申告始る

昭和五十六年分の贈与税の申告と納税は二月一日から、所得税の確定申告と納税は二月十六日から、それぞれ受付が始ります。この申告・納税の期限は、どちらも三月十五日となっています。

贈与税は、個人から財産をもらったときにかかる税金です。昨年一年間にもらった財産の合計額が六十万円を超えるときは、税務署に贈与税の申告をしなければなりません。

また、所得税は、個人が一月一日から十二月三十一日までの一年間に得た所得にかかる税金です。

例えば、①商売をしている人や家賃、地代の収入のある人、土地を売った人などで所得の合計額が、配偶者控除や扶養控除などの所得控除の合計額より多い人、②サラリーマンの方で給与以外の所得が二十万円を超える人や、給与の年収が一千万円を超えるなど一定の要件に当てはまる人は、所得税の確定申告が必要になります。

申告書は正しく記入して早めに提出しましょう。

所得税、贈与税の計算の仕方や申告書の書き方などで、分からない点やもっと詳しく知りたいことがありましたら、最寄りの税務署か税務相談室にお気軽におたずねください。

税務署では、申告期間中、いつでも御相談に応じています。

主な所得控除一覧表

所得控除の種類	控除額等
基礎控除	29万円
配偶者控除	29万円
老人配偶者控除	35万円
扶養控除	1人 35万円
老人扶養控除	1人 35万円
同居老親等扶養控除	1人 40万円
障害者控除	1人 23万円
特別障害者控除	1人 31万円
老年者控除	23万円
寡婦控除	23万円
寡夫控除	23万円
勤労学生控除	23万円
社会保険料控除	支払額の全額
生命保険料控除	（最高） 5万円
損害保険料控除	（短期最高） 3千円 （長期最高） 1万5千円 （合計最高限度） 1万5千円
医療費控除	（最高） 200万円

また、税務署のほかにも、市町村の役場や税理士会でも、無料で相談を受け付けています。皆さんの御都合に合せて御利用ください。

御寄付お礼
図書費へ

新川部落、川崎津久馬さんは今回水俣病の認定を受けられましたが「申請その他大変御世話になりました、町のために使ってください」と一金十万円を御寄付頂きました。

町では庁舎建設が済んだら図書館を建設する計画をたてており、この寄付金は図書購入資金として つかわせて頂き、川崎さんの善意を記念として残したいと思います。誠に有難く御礼申し上げます。

社協だより
御芳志お礼

部落	世帯主	故人
染竹	岩瀬クス	岩瀬直喜
中尾	川野広美	川野喜久次
大泊	新立一喜	新立一郎
竹中	松本栄男	松本京子
川内	北岡正光	北岡ツヤヲ
町中	元村和文	山下モノ
日当	伊藤一義	伊藤吉平
日当	伊藤一義	伊藤キモ

右の方から町社会福祉協議会へ香典返しとして金一封をご寄付くださいました。この寄付金は、ご意志に添い、有効に利用させていただきますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

山歩く心にいつも火の用心

2月28日▼3月13日春季全国火災予防運動「毎日が防火デーです。ぼくの家」